

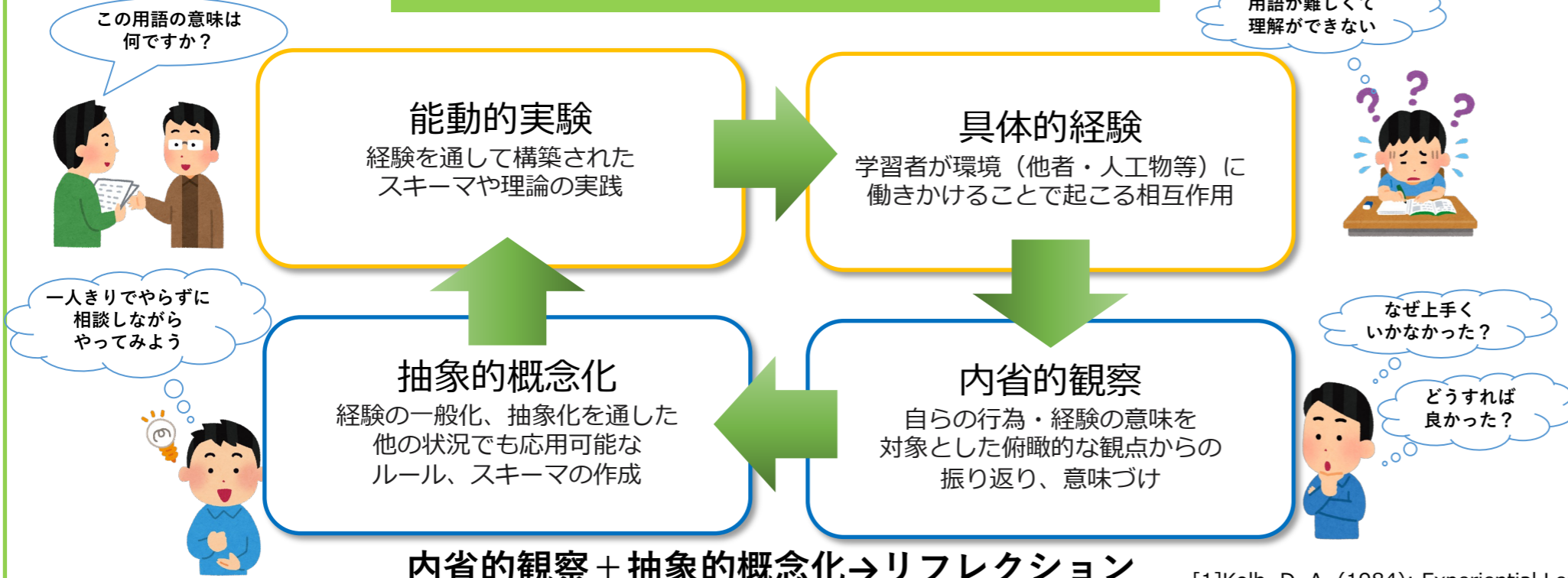
研究活動プロセスを教材とした 経験学習支援システム

瀬田・林研究室 1201100235 藤中遥暉

研究背景

研究活動において試行錯誤した経験から学び、以降の研究活動に活かせることが望ましい

コルブの経験学習サイクルモデル[1]



内省的観察 + 抽象的概念化 → リフレクション

[1] Kolb, D. A. (1984): Experiential Learning: Experience as the Source of Learning and Development

困難性

研究活動で試行錯誤した
具体的経験の想起が難しい

リフレクションが
能動的に実践されない

振り返ったことを
実践に活かさない

研究目的

研究活動プロセスの振り返りによる経験学習支援システムの開発

アプローチ

研究活動プロセスの表出

タスクの外化による
研究活動プロセスの表出

リフレクションの実践

質問提起によるリフレクションの実践

研究活動プロセスとリフレクションの 可視化・管理

システムによる研究活動プロセスや
リフレクション内容の可視化・管理

システム

開発言語 | HTML/CSS, JavaScript, PHP

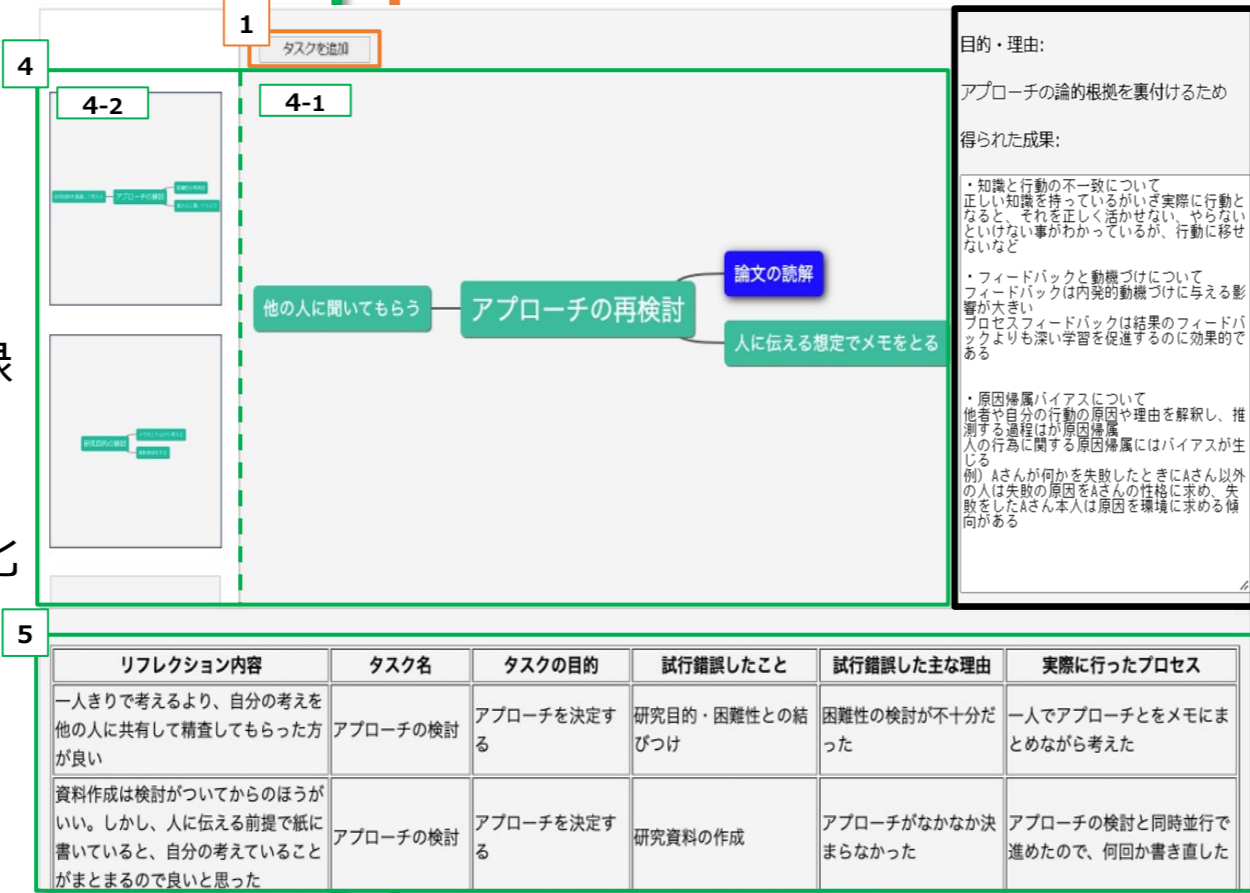
システムサイド

研究活動プロセスと リフレクションの 可視化・管理

4-1 研究計画の可視化

4-2 研究計画の変遷の記録

5 経験学習ログの可視化



リフレクションの実践 (実装中)

学習者サイド

1 タスクプランニング

2 タスクの実践結果

3 Q&Aによる試行錯誤内容の
リフレクション

2

目的・理由:
アプローチの論理的根拠を裏付けるため

得られた成果:
・知識と行動の不一致について正しい知識を持っているがいき実際に行動となると、それを正しく活かさない、やらないといけない事がわかっているが、行動に移せないなど
・フィードバックと動機づけについてフィードバックは内省的動機づけに与える影響が大きい
プロセスフィードバックは結果のフィードバックよりも深い学習を促進するのに効果的である
・原因帰属バイアスについて他者や自分の行動の原因や理由を解釈し、推測する過程は原因帰属にはバイアスが生じる
例) Aさんが何かを失敗したときにAさん以外の人には失敗の原因をAさんの性格に求め、失敗をしたAさん本人は原因を環境に求める傾向がある

3

目的・理由:
アプローチの論理的根拠を裏付けるため

あなたがこのタスクで試行錯誤したことを挙げてください
難解な語句の説明
試行錯誤した主な理由は何ですか？
語句の意味をしっかりと理解できてなかった

あなたが試行錯誤中に実際に行っていたプロセスを説明してください
議論根拠となりそうなものをメモにまとめつつ他の人に自分の説明を聞いてもらった

以上を踏まえてあなたが今後の研究活動で気を付けると良いこと、行ったほうが良いことを考えて挙げてください
自分でしっかりと理解できていない単語は他の人に説明してもらって理解してもらえないので、ちゃんと考えてから聞いてもらう。また、具体的な例を挙げてお分かりやすい

保存

今後の課題

・ユーザインタフェースの改善 ・有効性の確認